

笠野 眞喜議員



Q 旧久木野庁舎有効活用は

A 利活用検討委員会で検討

笠野議員
3分庁舎方式で不使
だった職務が4月3日
に開庁し、職員・村民
も新庁舎に慣れて職務
に専念している。

長陽庁舎の時に比べて
狭く、村民との対応、
各種団体との打合せ等
に苦慮しているのでは
ないかと思うことが多
くあった。

学校教育・社会教育
関係の打合せ会議が重
ならないようにされて
いるようだ。本村も熊
本県1の学校教育・社
会教育・生涯教育の村
を指すと考えたとき
に、教育関係の仕事は
別の場所がいいのでは
と考える。

村も将来的には図書
館の新設を考えている。
長陽中央公民館の図書
コーナー整理も含めて
図書館の新設は重要な
案件である。

中央公民館・クラブ
南阿蘇・歴史資料館・
子ども会事務局の設置
を旧久木野庁舎・久木
野福祉センターも含め
て有効活用しては。

村長

3月定例会で、図書
館の設置については、
南阿蘇村図書館等整備
検討委員会の意見書を
尊重し、旧久木野庁舎
全体が有効に活用でき
るように関係機関と連
携を取りながら進めて
いくと答弁した。

公共施設の跡地利用
は、利活用検討委員会
の中で具体的な利活用
について検討を
進めていく。

現在、図書館
を併用している
長陽中央公民館
は、クラブ南阿
蘇や放課後子ど
も教室の事務局
と各種団体の会
議等に利用して
いる。老朽化が
進んでいる事、
事務局が手狭な
事を鑑み長陽中
央公民館のあり
方や付随施設、
あるいは事務局
の今後の取扱い



有効活用が望まれる旧久木野庁舎

についても利活用検討
委員会の中で十分検討
していく。

教育委員会の旧久木
野庁舎への移設は理解
を得にくいのでしばら
くこの体制で進め、今
後慎重に検討したい。

Q 新たな有機肥料の生産は

A 性質の低下が懸念

笠野議員

村として有機農業を
推進するために堆肥セ
ンターがあり、牛若丸
の販売・BMWの提供
をしている。

以前に比べると
堆肥の販売は増加
し、生産が追いつ
かないと聞いてい
る。その様な中、
村民から牛若丸以
外の有機堆肥を購
入したいと尋ねら
れたことがある。
例えばEMポカシ
や土着菌入りの有
機肥料など牛若丸

以外の生産を考えてい
ないか。

村長
現在、センターで生
産している堆肥に対し、
他の菌を導入するとな
ると、性能や性質が低
下することが懸念され
る。その点については、
製品の成分分析が必要
になる。

現在、牛若丸の販売
は、センターのみで
行っているが、他の施
設で販売の要望があれ
ば引き受けたい。

有機農業の推進につ
いては、今後も力を入
れていく。



村の有機肥料牛若丸